

## 第2回

# 市民ホール整備レクチャー研修会

第1回 日時：6月26日（日） 13：00～16：00

場所：小田原市役所7階大会議室

司会：桧森 隆一（嘉悦大学副学長／経営経済学部 教授）

パネリスト：勝又 英明（東京都市大学 工学部建築学科 教授）

桑谷 哲男（座・高円寺 支配人）

蔭山 陽太（神奈川芸術劇場 KAAT 支配人）

伊藤 由貴子（神奈川県立音楽堂 館長）

### ○スケジュール

1. 開会あいさつ
2. 紹介
3. 市民ホール基本構想の概要について 桧森 隆一
4. 公立文化施設の事業事例紹介（1） 桑谷 哲男
5. 公立文化施設の事業事例紹介（2） 蔭山 陽太

\*\*（休憩10分）\*\*

6. 公立文化施設の事業事例紹介（3） 伊藤 由貴子
7. 市民ホール整備市民検討委員会 委員募集について  
文化振興ビジョン策定検討委員 委員募集について
8. まとめ
9. 今後の進め方について

## ○司会・パネリスト プロフィール



桧森 隆一（ひもり・りゅういち）

市民ホール基本計画策定専門委員会 委員長  
委員長嘉悦大学経営経済学部教授・副学長。行政経営フォーラム共同代表、日本文化政策学会理事、静岡県文化政策審議会委員、(社)指定管理者協議会理事長など。ヤマハ株式会社音楽企画制作室室長として、約 15 年間自治体や公立文化ホールが主催するコンサート、音楽イベントの企画制作、博覧会・国民行事・式典の音楽イベントのプロデュース、企業の地域文化貢献活動などに幅広く携わったのち、08 年 4 月より現職。文化政策、アートマネージメント、NPO 論、行政経営等を広く研究している。



勝又 英明（かつまた・ひであき）

市民ホール基本計画策定専門委員会 副委員長  
東京都市大学教授  
アール・アイ・エー勤務を経て 1993 武蔵工業大学大学院博士課程修了。博士(工学)。1998 年 EAST LONDON UNIVERSITY 客員研究員。専門は建築計画(劇場を中心に研究)。横須賀芸術劇場、東京国際フォーラム、いわき芸術文化交流館他に参画。主な著書は劇場空間への誘い(鹿島出版会)、音楽空間への誘い(鹿島出版会)、日本の現代劇場設計事例集(彰国社)。現在(社)日本建築学会文化施設小委員会委員、(公社)劇場演出空間技術協会建築部会部会長



桑谷 哲男（くわや・てつお）

市民ホール基本計画策定専門委員会 委員  
座・高円寺 支配人 特定非営利法人劇場創造ネットワーク事務局長  
大学在学中に日生劇場で舞台照明家としてスタートし、「自由劇場」、「黒色テント 68/71」に参加するなど、様々な劇団や舞踏などの照明デザインを国内外で行う。82 年より「長野県県民文化会館」舞台技術チーフ、96 年より「世田谷パブリックシアター」のテクニカルマネージャー、02 年より「可児市文化創造センター」の館長を歴任。この間、早稲田大学非常勤講師や全国の公立文化施設計画アドバイザー、コンペ審査委員、会議・シンポジウムなどのパネラー、講師、コーディネーターなどを歴任。



蔭山 陽太（かげやま・ようた）

神奈川芸術劇場 KAAT 支配人  
90 年に俳優座劇場 劇場部に入社。同劇場プロデュース公演の企画制作、劇場運営に携わる。96 年に文学座 演劇制作部に入社。98 年、文化庁在外研修員としてロンドンに滞在。02 年には企画事業部を新設、同部長。翌年、演劇制作部を企画事業部に統合、同部長に就任。06 年よりまつもと市民芸術館(芸術監督: 串田和美)プロデューサー兼支配人。10 年 4 月より、神奈川芸術劇場(芸術監督: 宮本亜門)の支配人(兼「神奈川県民ホール」副館長)に就任。



伊藤 由貴子（いとう・ゆきこ）

市民ホール基本計画策定専門委員会 委員  
神奈川県立音楽堂館長  
朝日新聞の文化事業の一環である株式会社朝日カルチャーセンターにて、広範な分野にわたる生涯学習としてさまざまな講座の企画・運営を行う。2000 年(財)神奈川芸術文化財団に転職。音楽分野を中心とした公演の企画・制作・広報等を担当。06 年より神奈川県立音楽堂プロデューサー、09 年より同館長を兼務。

## ○劇場コンサルタント プロフィール



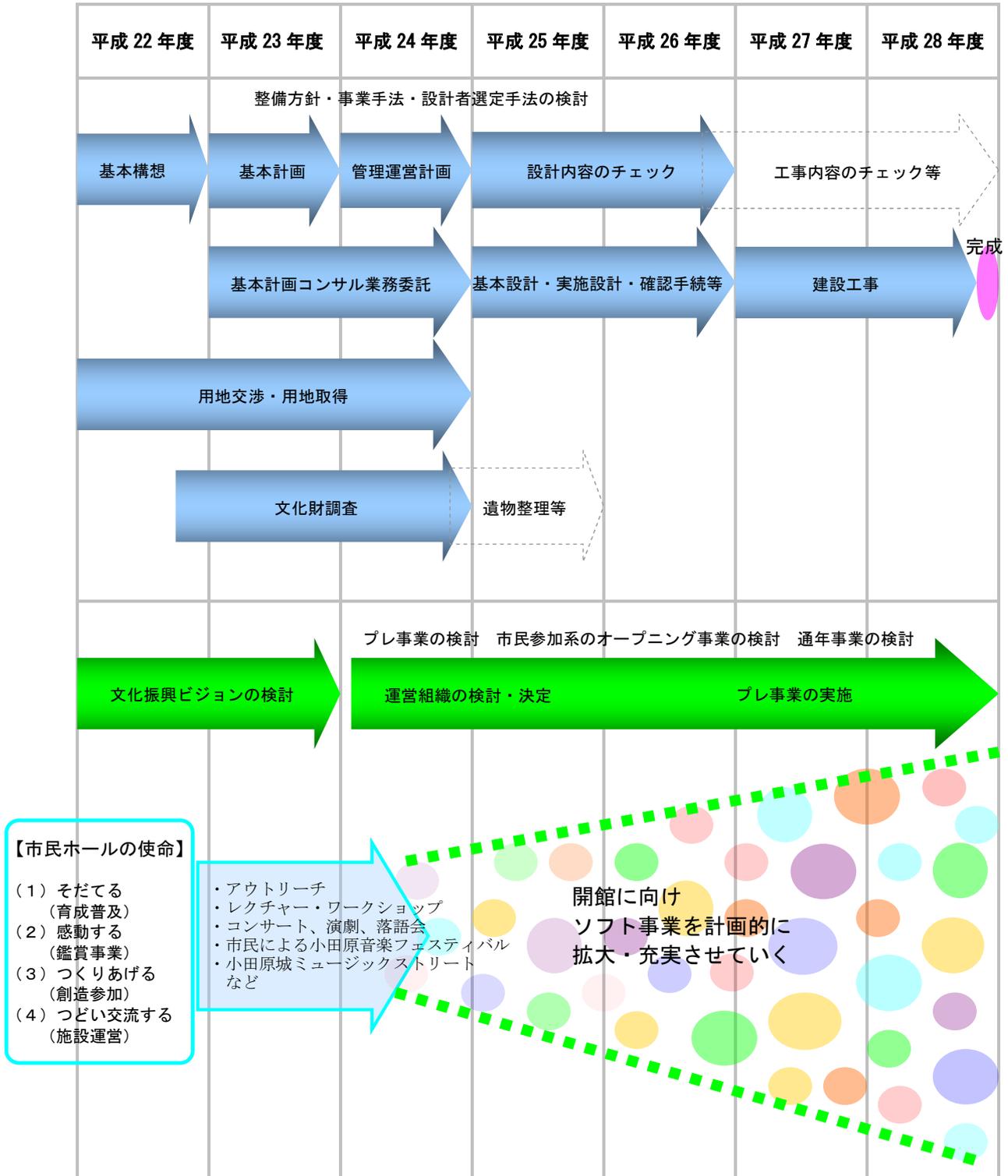
草加 叔也（くさか・としや）

空間創造研究所 代表取締役  
劇場・ホールなど演出空間を中心に基本構想・計画から施設計画(建築および舞台設備など)、管理運営計画の策定などに携わる。新潟市民芸術文化会館、長久手町文化の家、可児市文化創造センター、国立劇場おきなわ、兵庫県立芸術文化センター、神奈川芸術劇場(KAAT)など地域の劇場づくりに関わるとともに、ピーター・ブルック、ピナ・バウシュなどによる演出作品の日本公演で技術監督等としても直接上演活動に携わる。公立文化施設活性化事業アドバイザー

# ○市民ホール整備スケジュール

(市民ホール基本構想 P42 より)

平成28年度の施設完成を目標として、市民ホール整備事業が、単なる市民会館の建て替えではなく、小田原の新しい活力を生み出す「芸術文化創造の拠点」となるよう、文化の担い手の育成、ソフトづくり、確かな運営体制づくり、専門人材の確保、市全体での文化振興への取り組み強化など、開館前から文化事業を行う体制の整備を進めていく。



Memo